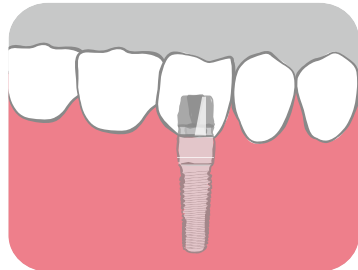


## 従来の治療方法とインプラント治療の比較について

### インプラント



#### 良い点

- 噛む力が天然の歯の80%位まで回復します。(違和感はほとんどありません)
- 歯肉の内側から天然歯が生えているように見えますので、審美性に優れています。(ケース

によっては天然歯とほとんど区別がつかないような治療が出来る場合もあります。)

インプラントはそれ自体で顎の骨に埋め込んでいますので(自立式ですので)両隣の歯を削って支える必要はありません。

#### 留意点

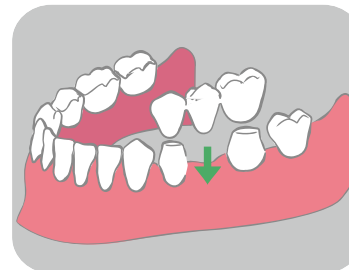
- インプラントを顎の骨に埋め込むための手術が必要です。
- 手術が出来ない症例もあります。

#### 治療費用

- インプラントは健康保険の適用外ですので、自由診療となります。
- 各人の手術の難易度が違うこと、また、治療の範囲により埋め込む本数が変わります。必要な費用は事前の診断により算定されます。



### ブリッジ



#### 良い点

- 固定式のため装着しても違和感はありません。
- 部位(場所)によっては、天然歯と区別なく見えることがあります。

#### 留意点

- ブリッジはその名の通り、失われた歯を両隣の歯で支える仕組みになっていますので、1本の歯を治療するために、たとえ両隣の歯が健全であっても削ることが不可欠となります。
- 支えとなる両隣の歯に負担がかかり、将来、その歯を失う確率が健全歯と比べて高くなります。
- ブリッジの真ん中の部分(歯根がない部分)は歯肉との間に隙間が出来て清掃しにくくなります。(口腔衛生の状態が不衛生になる確率が高まります。)
- 空気がもれて発音がしにくいとか、相手からは聞き取りづらくなる場合があります。

従来の治療方法と  
インプラント治療の  
比較について

治療に適する  
患者さん  
/  
適さない患者さん

インプラント  
治療の流れ

費用と  
治療期間に  
ついて

メンテナンスに  
ついて

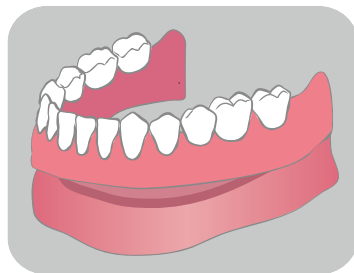
## 従来の治療方法とインプラント治療の比較について

### ブリッジ

#### 治療費用

- 健康保険適用の材料を用いれば、保険の適用範囲となります。
- 使用材料が自由診療の材料となる場合は自由診療の費用となります。

### 入れ歯



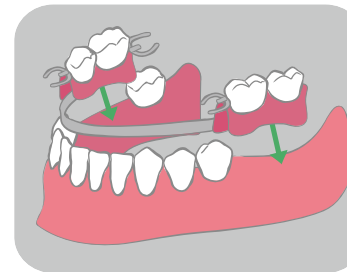
#### 良い点

- ブリッジの治療では行えないような多くの歯を失った場合(総入れ歯のような)にも用いることができます。
- 隣の歯を削る必要がありません。(ケースによっては隣の歯にバネのようなもので固定する場合があります。)



#### 留意点

- バネによりブリッジの場合と同じように、隣の歯に力の負担がかかることがあります。
- 噛む力は天然歯に比べて30%位に減少します。



- 固定式ではないため、食事中や会話の最中にはずれたりすることがあります。
- 取り外して入れ歯の手入れをする必要があります。
- 入れ歯と口腔粘膜の間に食べ物挟まったりして、衛生状態が悪くなる場合があります。

#### 治療費用

- 健康保険適用の材料を用いれば、保険の適用範囲内となります。
- 使用材料が自由診療の材料となる場合は自由診療の費用となります。

従来の治療方法とインプラント治療の比較について

治療に適する患者さん / 適さない患者さん

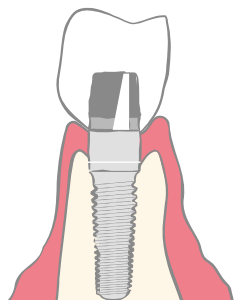
インプラント治療の流れ

費用と治療期間について

メンテナンスについて

## 治療に適する患者さん／適さない患者さん

### 治療に適した患者さん



- インプラントを埋め込むための顎の骨が量・質ともに十分な方
- 手術部位の骨に病変等の異常がないこと
- 歯周病等の感染症がないこと
- 重大な全身疾患がないこと
- 高齢者でも健康な方であれば可能です。

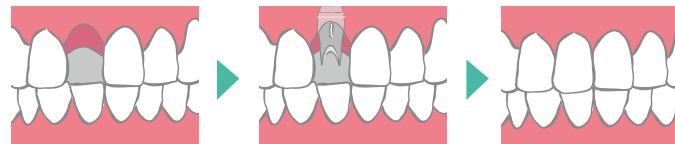
### 治療に適さない患者さん

- 顎の骨の量が少ない方
- 顎の骨に病変のある方
- 疾患の程度によりますが、糖尿病、高血圧、心臓疾患等に罹患し、手術が困難な方
- 重度のアルコール依存症の方

〈注意〉その他にも治療に制限がある場合がありますので、歯医者さんにご相談ください。

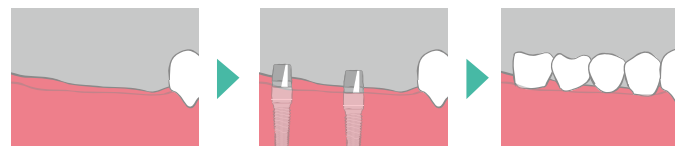
## 治療に適したケース

### 歯を1本失った場合



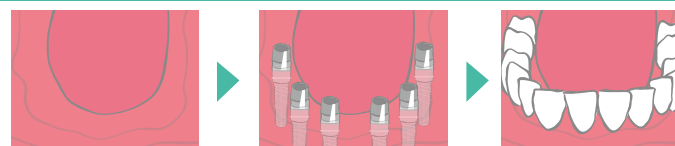
失われた部分にインプラントを1本埋め込みます。従来の治療方法は健全な両隣の歯を削るブリッジによる治療でしたが、インプラントは自立式ですので健全な歯を傷つける必要がありません。

### 歯を何本か失った場合



失われた部分に何本かのインプラントを埋め込みます。従来は部分義歯を用いて治療していました。入れ歯を隣の歯に固定するためのバネの必要はなくなります。

### 歯をすべて失った場合



従来は総入れ歯を用いて治療するケースですが、インプラントを用いた治療では固定式ですので、入れ歯のように食物が挟まったり、また、時間の経過とともに入れ歯が合わなくなることもありません。

従来の治療方法とインプラント治療の比較について

治療に適する患者さん／適さない患者さん

インプラント治療の流れ

費用と治療期間について

メンテナンスについて

## インプラント治療の流れ

### 1 診査と治療計画

お口の中の健康状態を診査し、インプラント治療が可能かどうかを判断します。また、患者さんのご希望を伺い、治療計画を立てます。

### 2 お見積もり

治療計画と手術の難易度等により、患者さんごとのお見積もりを作成します。

### 3 インプラントの埋入手術(1次手術)

お口の周りの中を消毒します。その後、麻酔を行います。一般的に、麻酔は局所麻酔(部分的な麻酔)で行われ、また、入院の必要はありません。但し、ケースによっては、全身麻酔で一晩入院の場合もあります。(歯科医師にお聞きください。)一般的な症例では、手術時間は1~2時間程度ですが、広範囲にインプラントを埋め込む症例や困難な症例ではもっと時間がかかる場合もあります。手術後に個人差がありますが、手術部位が腫れたり痛みが生ずることがあります。そのような時には痛み止めのお薬を服用していただくこともあります。また、手術直後は1週間くらい流動食を摂る場合もあります。

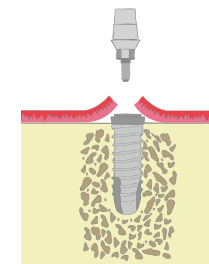


### 4 治癒期間

手術後、インプラントと顎の骨がしっかりと結合する期間が必要となります。一般的には下顎で3ヶ月、上顎で6ヶ月程度必要となります。(ケースによりますが、治癒期間が短くて済む場合もあります。)また、この間、必要に応じて仮の歯を入れることもあります。

### 5 アバットメント(支台部分)の連結のための手術(2次手術)

治癒期間の後、インプラントの上に人工の歯の支台となるための部分(アバットメント)を連結するために2回目の手術を行います。(最近では、ケースにもよりますが、2次手術を必要とせずにアバットメントを連結する手術方法も取り入れられるようになりました。)



### 6 人工歯の装着

お口の中で歯型を採り、患者さんに合った人工歯を作製し、アバットメントの上に装着して完成です。

### 7 メンテナンス

天然の歯でも定期的な検診が大切ですが、インプラントの治療後も適切なホームケアと3ヶ月~6ヶ月に一度の定期健診が必要です。天然歯と同様にインプラントもメンテナンスを怠ると失ってしまうことがありますので、歯科医師、歯科衛生士の指導をよくお聞きください。

従来の治療方法とインプラント治療の比較について

治療に適する患者さん / 適さない患者さん

インプラント治療の流れ

費用と治療期間について

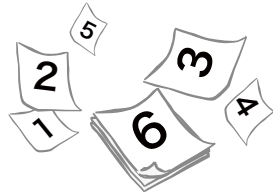
メンテナンスについて

## 費用と治療期間について

### インプラントの治療期間(最初の診査から治療が完了するまで)

#### 治療全体の期間

インプラントの治療は埋め込みのための手術を必要とします。1次手術は基本的に1日で、2次手術を必要とする場合は更に1日必要です。但し、インプラントが顎の骨にしっかりと結合するための期間(治癒期間)を必要とします。これは下記のように上顎と下顎では異なります。また、手術の前の診査や、お口の清掃の期間、手術後の人工歯の作製及び装着等の期間が必要となります。また、治療本数での期間の違いは余りありません。



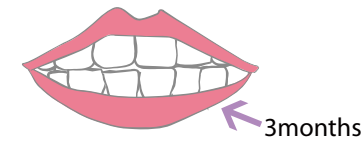
#### 上顎の場合の治療期間

通常、上顎にインプラントがしっかりと結合するには6ヶ月以上必要となります。その他に必要な治療期間を含めると約12ヶ月の治療となります。



#### 下顎の場合の治療期間

通常、下顎の場合は3ヶ月以上の治療期間が必要です。その他に必要な治療期間を含めて最低、約6ヶ月の治療期間となります。



### インプラントの治療費について

#### インプラントは自由診療です

インプラントの治療費は健康保険の適用でないため、治療費はそれぞれの歯科医院によって異なりますので、歯科医院にご相談ください。



従来の治療方法とインプラント治療の比較について

治療に適する患者さん/適さない患者さん

インプラント治療の流れ

費用と治療期間について

メンテナンスについて

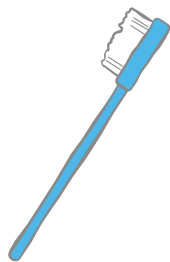
## メンテナンスについて

### 治療後の注意点

手術後24時間は、うがいをしないほうがいいでしょう。麻酔がきいている間は、誤って舌や頬、唇を咬んでしまいますので、食事はしばらく摂らないこと。術後の当日は、歯磨きは避けて、翌日から腫れや痛みを避けて、慎重に磨くようにします。術後2~3日はスープやおかゆなど柔らかいものを食べるようにします。手術後のその日は、入浴は控え、シャワー程度にしましょう。手術後は飲酒や喫煙などは控えて、体調の維持に努めるようにします。

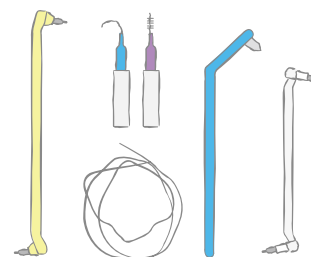
### 歯磨き

日常の口腔ケアの一つは、もちろん歯を磨くことです。毎食後はできていても、意外に見過ごされがちなのが、起床後すぐに歯磨きをすることです。たとえ就寝前にどんなに丁寧に歯磨きをしても、眠っている間に細菌はどんどん繁殖しています。まず、目が覚めたら歯磨きをして、これらの細菌を洗い流してしまうことが大切なのです。また、歯ブラシの手入れも重要です。せっかく丁寧にプラークを取り除いても、それが歯ブラシについたままでは意味がありません。プラークの中の細菌は、口腔の外でも数日間はずっと生きています。使用した歯ブラシは、水で丁寧に洗い流してから乾燥させることが大切です。



### 色々なメンテナンスツール

人工歯冠と隣の歯や、連結した人工歯冠の間にどうしてもできてしまう隙間を磨くことも重要です。これは、特殊な歯ブラシで手入れすることが必要です。インプラント治療を受けた方にとって重要なポイントにもなります。



### プラークのチェック

歯垢顕示薬などを使って自分でプラークをチェックすることも、インプラント治療後の重要ポイントになってきます。磨き残しはプラークの原因になることはもとより、これを放置しておくとう歯周病になる可能性があります。



掲載の内容は歯科医師、歯科衛生士の監修のもと、構成しております。

従来の治療方法と  
インプラント治療の  
比較について

治療に適する  
患者さん  
/ 適さない患者さん

インプラント  
治療の流れ

費用と  
治療期間に  
ついて

メンテナンスに  
ついて